

氷見市議会企画総務委員会会議録

令和5年2月7日（火）

氷見市庁舎議事堂委員会室

開会 午前10時00分

休憩 午前11時52分

再開 午後1時00分

閉会 午後1時16分

- 1 案 件 令和5年度予算案のうち企画総務委員会の所管に係るもの
- 2 出席委員 6名
萬谷委員長、北副委員長、穴倉委員、上坊寺委員、積良委員、萩山委員
- 3 委員外議員 松原副議長
- 4 職務のため出席した議会局職員 串田局長、舛田次長
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、篠田副市長、金谷代表監査委員、藤澤政策統括官、東軒企画政策部長、萩原秘書広報課長、尾山地方創生推進課長、粟屋地域振興課長、高林移住定住推進課長、森田総務部長、中尾総務課長、出戸財務課長、西田税務課長、高田会計管理者、表監査委員事務局長ほか関係職員
- 6 傍聴人 1人
- 7 経過及び結果
 - ・萬谷委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、説明を了承することとした（主な質疑応答は別紙のとおり）。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和5年2月7日

氷見市議会企画総務委員長

萬谷 大作

令和5年2月企画総務委員会調査日程表

令和5年2月7日(火)午前10時

氷見市庁舎議事堂委員会室

- ◎ 議会局 10:00~
・事業別明細書..... P 9 2
- ◎ 会計課 10:04~
・事業別明細書..... P 9 1
- ◎ 監査委員事務局 10:07~
・事業別明細書..... P 1 1 8
- ◎ 秘書広報課 10:09~
・事業別明細書..... P 1
- ◎ 地方創生推進課 10:32~
・事業別明細書..... P 3
- ◎ 地域振興課 11:00~
・事業別明細書..... P 5
- ◎ 移住定住推進課 11:24~
・事業別明細書..... P 7
- ◎ 総務課及び選挙管理委員会事務局 11:39~
・事業別明細書..... P 1 1
- ◎ 税務課 11:42~
・事業別明細書..... P 1 6
- ◎ 財務課 13:02~ 13:16
・事業別明細書..... P 1 3

地域振興課追加説明 13:00~13:02

主な質疑応答

<p>議会局 萩山委員</p> <p>舛田次長</p>	<p>10. 姉妹都市議会議員友好親善事業費について。新型コロナウイルス感染症が次の段階に入ってきて、視察の動向はどのようになっているか。</p> <p>県内の市議会では概ね再開されている。</p>
<p>秘書広報課 穴倉委員</p> <p>萩原課長</p> <p>上坊寺委員</p> <p>萩原課長</p> <p>萩山委員</p> <p>萩原課長</p> <p>萩山委員</p> <p>西中班長</p> <p>萩山委員</p>	<p>8. LINE 活用強化事業費について。LINE の友だち申請の人数は。行政サービスを広げることによってどれだけ人数を増やすという目標を設定しているのか。他自治体で導入済みの機能の相乗りでコストが少なくなる事例の3点について聞く。</p> <p>LINE の公式アカウントの友だち数は現在7,300人。5年度は8,000人を目指し、行革プランの最終年度までにすべてのSNSで2万人を目指している。先行自治体の事例では、LINE を活用した住民票交付を魚津市が導入している。その他、デモをしながら防災訓練を体験する自治体もある。</p> <p>住民票を申請して郵送されてくると非常に便利だし、アンケートもいいと思うが、高齢者の方々は依然としてガラケーが多いので、ガラケーにサービスを広げることにはできないか。</p> <p>ガラケーでの対応は難しく、スマートフォンを活用してほしい。</p> <p>LINE を使って住民票をコンビニで取るとき、個人を判別するにはマイナンバーを携帯スマホの方に読み込ませることになるが、セキュリティの確保はどのように考えているのか？</p> <p>JPKI といってなりすましを防止する公的認証サービスを使い安全性を確保している。</p> <p>通信するなかで第三者がのぞき見とかできるのではないか。</p> <p>LINE については暗号化通信されており、フリーWi-Fi を使っても通信の内容は保護できる仕組みになっている。</p> <p>県内では魚津市が先行しているとのことだが、他市町村の事例を踏まえた上で実施に移していただきたいと思うが。</p>

萩原課長	先行事例を参考に進めていく。
<p>地方創生推進課</p> <p>萩山委員</p> <p>尾山課長</p> <p>萩山委員</p> <p>尾山課長</p> <p>上坊寺委員</p> <p>尾山課長</p> <p>上坊寺委員</p> <p>尾山課長</p>	<p>2. 高岡地区広域圏事務組合分担金について。焼却炉を作って10年が過ぎて、運転の分担金だけではなく、例えば機械の長寿命化とか環境に適応するような取り組みが必要になってきていると思うが、今後のことについて議論はしているのか。</p> <p>担当課長会議ではそういった説明は聞いていない。</p> <p>焼却炉は日進月歩で技術が進んでいると聞いているので、突然、大きな市の負担金が出てくるようなことにならないよう、情報収集をしていただきたい。広域圏のそもそもの仕事は、ゴミ処理であるが、それ以外の業務の今後の展望はどのように議論されているのか。</p> <p>来年度以降の地域振興の計画を策定しており、それに従って婚活やゴミの減量化対策をすることとしている。富山呉西圏域連携事業もあり、効率的に取り組んでいく方針を出している。</p> <p>10. 農業遺産推進事業費について。世界農業遺産の申請に向けた課題として市民の盛り上がりの醸成が必要であると言われていたが、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>日本農業遺産に認定されたときに六つの指摘事項があった。その中の一つに市民や漁業者の盛り上がりが必要というご指摘をいただいた。 認定後は農業遺産のシンポジウムを開催し、皆さんに農業遺産の取り組みの周知や小学生を対象とした定置網見学を実施した。その他、農業遺産のロゴマークを作り、氷見産の商品等に貼り、昨年の食彩まつりで試験的に販売等を行っている。漁業者の方からは、地元の小学生たちに自分たちの漁をしている姿を見てほしいというお話も聞いたことから、灘浦小学校や海峰小学校にお願いに行っている。</p> <p>漁協との連携については、どうなっているのか。</p> <p>漁協の農業遺産に対する意識としては、認定されたからといって魚が獲れるわけでもない。回遊してくる魚を待つて獲る定置網漁業では、氷見に魚を食べに来られたお客さんが、思いの魚を食べられなかったとき、悪い印象を持たれて帰られるのではないかとといった心配する声も聞いている。400年続く氷見の定置網漁業が日本農業遺産として選ばれたということは、氷見市に住む者の誇りであり、そう思うことが将来の子供たちが漁業を引き継いでくれるようになる。引き続き漁業関係者の理解が得られるよ</p>

	うにシンポジウムやイベントを行う際には、説明に行って参加を呼びかけていきたいと思っている。
萩山委員	世界農業遺産に向けて、課題を克服する費用も入っているということだが、エントリーするために使う予算の金額はどのぐらいを見込んでいるのか。
尾山課長	世界農業遺産に向けての作業と被るが、農業遺産に認定されてから5年目に専門家会議の委員が現地にモニタリング調査に来る。その際には課題の整理についても説明が必要であるため、90万円ほどの予算を見ている。
萩山委員	世界農業遺産にエントリーするタイムリミットは。
尾山課長	先月、ホームページには次回の応募は令和6年1月と掲載されている。募集期間が5ヶ月から6ヶ月ほどあると思われるが、申請書の作成等のことを考えると、本年中には何らかの決定が必要と考えている。
萩山委員	1年を切るスケジュールの中で、金額は少ないかもしれないが90万円の公金を使って準備をすることだが、当然全くあてもないのにお金を使うということは許されない。1年間の中でどういように六つの課題を整理するのか、スキームを示してほしい。
尾山課長	整理の一つには、魚付き保安林が漁業に及ぼす影響の立証である。これは指摘を受けたあと文献調査等を行い、魚付き保安林には効果があるという文献は見つけたが、氷見の魚付き保安林が漁業に及ぼす影響等について記載したものはなく、それを証明するには、実際に水質調査をすることになり、1年では終わらず、費用も多額になる。世界農業遺産に認定された大分県の国東半島地域では、森林が及ぼす影響を河川の水や海の水質調査等を行っており、栄養分の量はわかるが、漁業に及ぼす影響までは解明できていない。その業務に携わった大学の先生等にもお話を聞いたが、専門家委員からの指摘事項を証明するのは無理だといわれた。次回申請する際には、どういった形で申請するのがいいのか専門家の先生たちと相談して記載の仕方について検討していきたい。氷見市で水揚げされる魚種等については、これまでの結果をまとめていく形になる。近年の温暖化による魚種の影響については、専門家の調査資料を集め、それらには3ヶ月くらいでできないかなと思っている。もう一点として、他地域との差別化として、先に認定された地域の調査委託を行うこととしている。
萩山委員	今回が初めての申請ではないので、ハードルが具体的に示されている。予算を認めるにあたっては、無理であるものを議会として安易に議決はできないと思っている。追加資料としてスキームの分かるものを提出していた

<p>積良委員</p> <p>尾山課長</p> <p>積良委員</p> <p>尾山課長</p> <p>積良委員</p> <p>尾山課長</p>	<p>だきたい。</p> <p>9. 大学連携推進事業費について。名城大学との連携だけを考えているのか。</p> <p>主に名城大学との連携に関する業務が中心となる。実際、大学に相談したところ、名城大学の先生では対応できず、別の大学の先生を紹介していただいたこともある。その他、県内の大学とコンソーシアムを作り取組んでいく。</p> <p>今年はこれに特化してやりたいというものはあるのか。</p> <p>これまでコロナ禍で大学から学生が氷見市に来ることが難しい状況であったが、来年度については、スポーツ合宿やゼミで学生たちが氷見に来られるよう働きかけたい。</p> <p>薬学部との連携ではどのようなことをするのか。</p> <p>オンラインで何度か打ち合わせをしたところ、名城大学薬学部を卒業した就職先については、3分の1の学生は、特に地元や大学のある中京圏にこだわらず、自分のつきたい業務があれば、他の地域に行ってもいいという考えのようだ。氷見市民病院を選んでもらえるように、実際に氷見に来てもらい、病院の見学や、本学である金沢医科大学の研究体制の説明などを聞いてもらいたいと考えている。</p>
<p>地域振興課 北委員</p> <p>栗屋課長</p> <p>萩山委員</p> <p>篠田副市長</p>	<p>11. 持続可能な地域づくり支援事業費について。現在何地区が設立しているのか。今年度は何地区設立予定なのか。最終的には全23地区の設立は何年までを目指しているのか。</p> <p>現在の設立は13地区。今年度は2地区(1地区は設立し、1地区は予定)。総合計画の前期中に全部できないか調整している。</p> <p>城端氷見線のことについては、今どのような議論に至っているのか。LRTは雪に対して非常に脆弱だと報じられていましたが、今後の展開について副市長の所見を伺いたい。</p> <p>氷見市の条件としては、現状が維持されるということ。特に朝晩の高校生の登下校の確保が、今と同じ条件でスムーズに移行されていくということが求められる。</p> <p>先日示された調査結果では、LRTにした場合に、その輸送人数の点でま</p>

	<p>ず一つ大きな課題がある。また、時間が長くなること。それから冬季においては、例えば大雪が降った場合に果たしてそれがスムーズに運行されるのか、もし駅で止まった場合の代替輸送のこと。ランニングコストの費用など、様々な懸念点が見えてきた。BRT という手段も検討されたが、さらに条件が悪い。また、LRT 化した場合には1年から2年の運行がストップするということもあり、そうした場合の電車離れも心配される。今のまま何もしないで、例えば新型車両に置き換えたとしても1日の利用人数が減っていく懸念もある。そういったもろもろのことを鑑みたときに、インシヤルコストでは明らかに新型車両の方がいいというのが現状見えている。ただし、ランニングコストや本当に雪で運行がストップしてしまうのか、まだまだ必要な情報があるので最終的な方向をさらに絞って、スピードアップして議論を続けていかなければならないというのが先日の会議の一致した考えだった。3月末までにはもうワンステップ進んだ議論になる。</p>
萩山委員	<p>コスト面でハードルが非常に高いこと、そして人口減少の中でどれだけ乗客を確保できるかということも合わせて難しい課題だと理解した。議論の経過を、この常任委員会に限らず、議会にフィードバックをしていただきたいと思うが。</p>
篠田副市長	<p>非常に重要な問題なので、情報共有を図りながらよりよい方向に進めていきたいと思っている。</p>
萩山委員	<p>7. 地域ぐるみ除排雪促進事業費について。空き家の前や吹きだましているとところの除雪を地域で手助けをしてやりなさいという趣旨の事業であると思う。当然空き家の屋根にも大きな雪があり、しかも低温で氷の塊のようなこともあって、それを地域で落としてやって除雪をしなければならないのかといった議論もあるがどうか。</p>
栗屋課長	<p>この事業は、辺地の地域に限ったものとなっている。例えば、コミュニティ助成事業や地域づくり協議会の事業として行う方法もある。</p>
積良委員	<p>18. まちなかモビリティ運行事業について。令和4年度の実績は。</p>
栗屋課長	<p>4月から11月末現在で206件、前年は174件。</p>
積良委員	<p>そのなかで、事故はなかったのか。</p>
栗屋課長	<p>自損事故が3件あった。</p>
積良委員	<p>自分で運転するので事故が起こる可能性もある。しっかり周知しているのか。</p>

<p>栗屋課長</p> <p>萩山委員</p> <p>栗屋課長</p> <p>萩山委員</p> <p>栗屋課長</p>	<p>毎月、事務レベルの話し合いを行っているので徹底したい。</p> <p>17. 北陸新幹線 2 次交通運行事業費について。現在の運行状況は。</p> <p>(追加資料で説明)</p> <p>令和 2 年度から 2 便化し事業費を圧縮している。同時にコロナ禍になり、その効果は判明していない。令和 5 年末には、北陸新幹線の金沢―敦賀の開業を控えており、北陸ディスティネーションキャンペーンも令和 6 年の 10 月から 11 月にあり、引き続き、かがやきの停車実現期成同盟会の取り組みを積極的に進めることとしている。</p> <p>1 便あたりの乗車状況は、令和 2 年、3 年、4 年の例えば 7 月分を見ると、令和 2 年の 2.7 人、令和 3 年の 3.5 人、令和 4 年が 3.6 人で、これが 1 月の分を見ると、令和 2 年が 2.1 人、令和 3 年が 4.4 人、令和 4 年が 5.4 人と戻る方向にあり、金沢敦賀の延伸開業までは様子を見たいと考えている。</p> <p>乗車人数は戻ってきているとのことだが、2 便から 4 便に戻す議論はあるのか。</p> <p>まだ数字の推移を見る必要があり、そのような議論はない。</p>
<p>移住定住推進課</p> <p>穴倉委員</p> <p>高林課長</p> <p>萩山委員</p> <p>東軒企画政策部長</p>	<p>6. 老朽空き家対策事業費について。老朽空き家の補助として 10 件想定されているが、それ以上あった場合は先着順か。</p> <p>先着順（申請順）に受付し、10 件を超えそうな状況であれば、その都度補正予算として要求させていただきたい。</p> <p>空き家の問題は日本全国の問題でキーワードになっている。</p> <p>空き家は利活用し、危なくて潰さなければならないものもある。残った空き家があると、治安の問題として不審者がきて警察が駆けつけた事案があった。空き家のことをワンストップで相談できる市民への周知はないものか。</p> <p>空き家の取り壊しに関してはパンフレットを作り、各自治体等に周知している。防犯面の周知については、自治会と相談しまして、どういった問題があるかを吸い上げ、問題に対してどういった制度で対応できるのかということもわかりやすく説明できる資料を作成していきたい。</p>

<p>税務課 萩山委員</p> <p>西田課長</p> <p>萩山委員</p> <p>西田課長</p>	<p>8. 市税コンビニ収納サービス事業について。市税のコンビニ納付は大変利便性が向上したと思うが、どのぐらいの利用があるのか。</p> <p>コンビニ納付とスマホアプリのクレジット決済の併せての金額になるが、令和3年度実績で3億1千万円余り。率にすると市税全体では6%ぐらいになる。件数として収納方法では口座振替が一番多く62.4%、コンビニ収納が12.6%、あとスマホが1.5%となっている。</p> <p>この収納率をこれからどのようにシフトしていこうとしているのか。</p> <p>収納率の向上を目指し、何よりも利便性の向上を図ることを考えている。</p>
<p>財務課 萩山委員</p> <p>出戸課長</p> <p>萩山委員</p> <p>出戸課長</p>	<p>8. 市有財産管理費について。増額となった内容は。</p> <p>この事業では、通常の草刈りや消防設備などに加え売却に関する経費を計上した。鑑定費として2件分、100万円。その他、例えばその場所がわかりにくいということであれば看板の設置や、境界がわかりにくいところの測定の委託料などである。</p> <p>通常の草刈り等ということだが、どのぐらいの件数か。</p> <p>件数につきましては流動的なものがあり、その経費もまちまちなので、昨年度と比較して積算したので、何件分という決まった数はない。</p>